



あみの四季彩

網野町の人口(人)			
	R2.4末	R2.5末	前月比
0～14歳	1,222	1,213	-9
15～64歳	6,573	6,563	-10
65歳～	4,833	4,830	-3
合計	12,628	12,606	-22

オオキンケイギク駆除 白砂青松保全委員会

5月から7月にかけて美しい黄色の花を咲かせるオオキンケイギク。北米原産のこの花は強靱でよく育成することから、京丹後市でもかつて道路工事の際の法面緑化のために使用されていました。しかし現在では、その繁殖性の強さから特定外来生物に指定され、その土地固有の植物の繁殖に悪影響を及ぼしています。

このオオキンケイギクの繁殖被害に苦しむ地域のひとつである掛津地区では、一昨年からは、白砂青松保全委員会を中心に掛津・遊・三津のみなさんが、毎年駆除作業を行っています。今年も5月23日に三本松交差点付近を中心に子どもから大人まで多くの方々が参加して、約一時間作業が行われました。

また翌日には、小浜区の皆さんも新樋越川周辺で駆除作業を行いました。



三本松交差点付近での駆除作業の様子。ダンブー台分のオオキンケイギクが駆除されました。



白砂青松保全委員会
事務局長 松尾信介さん
「今年もたくさんの方々に参加いただいたので、無事終わることができました。繁殖力の強いこの花を完全に駆除するためには、この活動を続けていくことがなによりも一番重要なことです。そして、この活動を他の区や町の方々にも知ってもらい、掛津を発信源として、市内に活動が広がっていくともうりたいです。」

三津の海でシーカヤック体験

あみのええとこ再発見



三津では、三津漁業生産組合が年内で解散することが決まる中、ツアーを企画したガイドの澤佳奈枝さんが

網野町三津でシーカヤックができると聞き、早速体験してきました。今回参加したシーカヤックツアーの出発地は三津漁港です。三津漁港は自転車で何度か通ったことがあったのですが、三津の浜は初めてだったのでワクワクしました。ツアーでは海の上から断崖絶壁を眺めたり、洞窟や海からしか行けないような浜辺を回ったりと、自然の魅力をめいっぱい感じることもできました。



澤 佳奈枝さん

大学を卒業後、京丹後市内のスイミングスクールで勤務・経営。その後、地元三津でマリネリジャーのお店を開くために、沖縄県宮古島でシュノーケリングやSUP、シーカヤックのガイドの勉強をし、今年「翔笑璃(とびわたari)」をオープン。

URL: <https://r.goope.jp/tobiwatari2020>



が、レジャースポーツという新たな形で地元三津漁港を活用し、丹後の自然のすばらしさを伝えたいと奮闘中です。澤さんは「魅力的な三津漁港の風景や、美しい海があることを多くの人に知ってもらいたい。シーカヤックツアーで多くの人に三津を訪れてほしいです。」と話しておられました。

文&写真/地域おこし協力隊 八隅孝治

